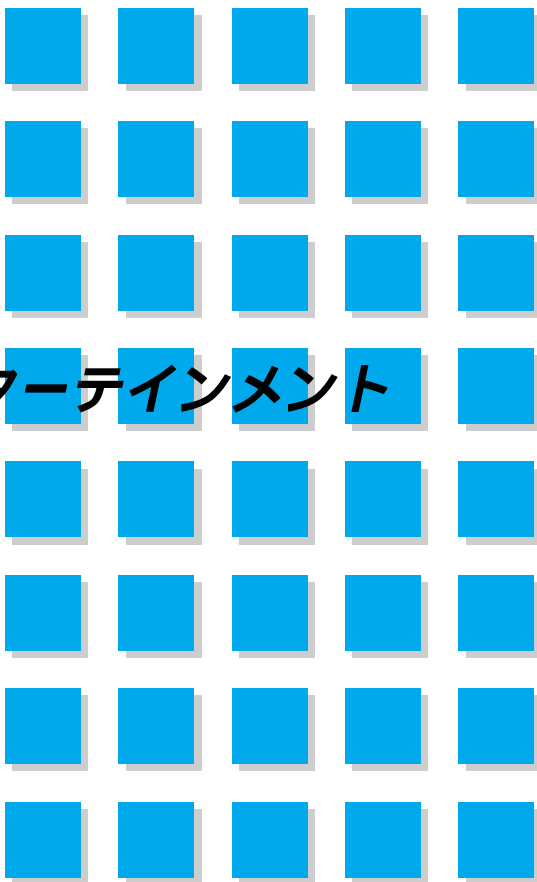
SONY®

4-649-988-**02** (1)

パーソナルエンターテインメントオーガナイザー

PEG-S500C
PEG-S300
PEG-S500C/D
PEG-S300/D

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 この説明書では、本機を使う前に必要な準備および基本的な使いかたについて説明しています。
PDAをはじめてお使いになる方はもちろん、よくご存知の方も、必ずこの説明書からお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2000 Sony Corporation

Program © 2000 Sony Corporation, © 2000 Palm,Inc.またはその子会社
All rights reserved.
Documentation © 2000 Sony Corporation

- CLIE、VAIO、"Memory Stick"("メモリースティック")、MEMORY STICK™、PictureGearはソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、Graffiti、HotSync、MultiMailは、Palm, Inc.またはその子会社の登録商標であり、Palm Desktop、HotSyncのロゴは、Palm, Inc.またはその子会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Palmscapeは、株式会社イリンクスの商標です。
- ATOK、ATOK Pocketは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- Adobe® およびAdobe® Acrobat® ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのソニー PDAに添付の使用許諾契約書をお読みください。

ご注意

- Palm OS上で動作するサードパーティ製のアプリケーションおよびハードウェアについては、当社はサポートしておりません。
- 付属のソフトウェアは、この説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- この説明書は、お客さまがWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

目次

はじめに

本機を充電する

本機の基本操作を練習する

パソコンにつなぐ

その他

本機でできること

パーソナルエンターテインメントオーガナイザー（以下「本機」または「ソニーPDA」と略します）は、予定表、アドレス、ToDo、メモ帳などの電子手帳の機能に加え、パソコンや携帯電話、PHSと連携して使える、拡張性に優れた情報端末です。

電子手帳のように使う

予定表、アドレス、ToDo、メモ帳などのアプリケーションを使って、本機を電子手帳のように手軽に活用できます。

携帯電話・PHSとつないでインターネットへ接続する

付属（PEG-S500C、PEG-S300のみ）のモバイルコミュニケーションアダプターを本機に装着して、携帯電話やPHS経由でインターネットに接続できます。
外出先から電子メールを確認したり、インターネットのホームページでちょっとした調べものをしたいときなどに便利です。

パソコンと連携してデータをやり取りする（HotSync（ホットシンク））

付属のクレードルに本機を装着して、本機に保存した予定表やアドレスなどのデータを、パソコンに保存することもできます。
本機からパソコンへデータを送るだけでなく、パソコンで入力した予定表やアドレスのデータを本機にコピーするなど、本機とパソコン間でのデータの同期を簡単に実現できます。

静止画や動画を再生する

Windowsのソフトウェアや、本機に付属するPictureGear Liteと連携して、静止画や動画の再生を楽しめます。
住所録であるアドレスのデータに静止画を貼り付けることもでき、実用だけでなく遊び心のある使いかたも楽しめます。

“ メモリースティック ”でデータをやり取りする

“ メモリースティック ”を使って、パソコンや他のソニー PDAなどとデータをやり取りできます。クレードルなしでも、外出先で手軽にデータをやり取りできるので便利です。

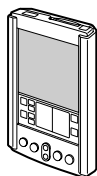
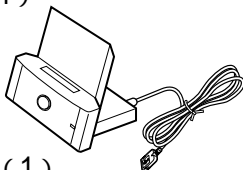
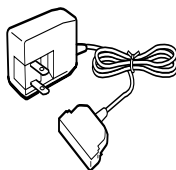
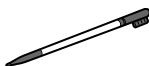
ジョグダイヤルで簡単操作する

スタイラスでの操作に加えて、ジョグダイヤルで本機を操作できます。
アドレスや予定表などのジョグダイヤル対応アプリケーションで情報を確認したいときなどに片手で操作を行うことができ、便利です。

アドオンアプリケーションで機能を拡張する

市販されているPalm OS用のアドオンアプリケーションを本機で利用することもできます。インターネット上で流通しているフリーウェア、シェアウェアの各種ユーティリティなども利用できるので、自分だけのオリジナルな操作環境を作り上げてみましょう。

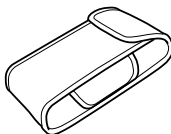
付属品を確かめる

❑ **本体**（1）

❑ **クレードル**（1）

❑ AC **アダプタ**（1）

❑ **スタイラス**（1）

❑ 8MB“**メモリースティック**”（1）(PEG-S500C、PEG-S300**のみ**）

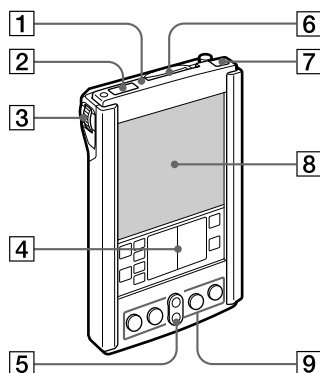
❑ **モバイルコミュニケーションアダプター**（1）(PEG-S500C、PEG-S300**のみ**）

❑ **モバイルコミュニケーションアダプター接続ケーブル**
(PEG-S500C、PEG-S300**のみ**）PDC**用**・PHS**用**1・PHS**用**2（**各1**）

❑ **ソフトカバー**（1）

説明書およびCD-ROM

- ❑ インストール CD-ROM（1）
- ❑ 本体取扱説明書（1）
- ❑ はじめにお読みください（1、本書）
- ❑ モバイルコミュニケーションアダプター取扱説明書（1）
  （PEG-S500C、PEG-S300のみ）
- ❑ モバイルコミュニケーションアダプターかんたん接続ガイド
  （PEG-S500C、PEG-S300のみ）
  デジタル携帯電話用（1）
  DDIポケット用（1）
  NTT ドコモ、アステル PHS用（1）
- ❑ Palmscape取扱説明書（1）
- ❑ MultiMail取扱説明書（1）
- ❑ PictureGear Pocket取扱説明書（1）
- ❑ Graffiti早わかりカード（1）
- ❑ カスタマー登録のご案内（1）（PEG-S500C、PEG-S300のみ）
- ❑ カスタマー登録はがき（保証書）（1）
  （PEG-S500C、PEG-S300のみ）
- ❑ ソニーPDAカルテ（1）
- ❑ Graffitiシール（1）
- ❑ ソフトウェア使用許諾書（1）
- ❑ ソニーPDAサービスサポートのご案内（1）
- ❑ その他印刷物一式

各部のなまえと働き

本機前面

1 メモリースティックランプ

本機が“ メモリースティック ”にアクセスしているときにオレンジ色に点灯します。

2 赤外線通信ポート

赤外線で他のPalm OS搭載機器とデータをやり取りできます。
詳しくは本体取扱説明書をご覧ください。

3 ジョグダイヤル

アプリケーションや項目を選択／実行できます。また、アプリケーションによって独自の機能が割り当てられています。
詳しくは「ジョグダイヤルの使いかた」（15ページ）をご覧ください。

4 Graffiti入力エリア

Graffiti文字で手書き入力をするための領域です。Graffitiを使った手書き入力について詳しくは、本体取扱説明書をご覧ください。

5 スクロールボタン

画面上に1度に表示しきれない情報を見るときに押します。下のボタンを押すと画面の下に隠れている情報が表示され、上のボタンを押すと画面の上に隠れている情報が表示されます。また、アプリケーションによって独自の機能が割り当てられています。

6 メモリースティックスロット

“ メモリースティック ”を挿入します。

7 電源ボタン

本機の電源を入／切します。
また、このボタンを2秒以上続けて押すと、バックライトの点灯／消灯を切り替えることもできます。

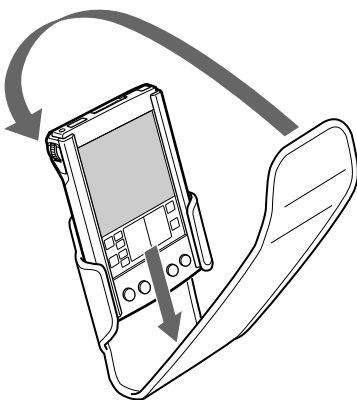
8 画面

本機に収録されているアプリケーションや、入力したデータを表示します。
画面に表示される内容について詳しくは、「表示画面」（11ページ）をご覧ください。

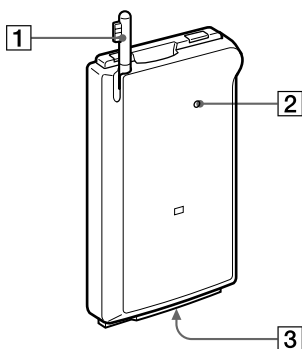
9 アプリケーションボタン

ボタンのアイコンに合わせて、予定表、アドレス、ToDo、メモ帳が起動します。
これらのボタンに好みのアプリケーションを割り当てることもできます。
詳しくは本体取扱説明書をご覧ください。

ソフトカバーの取り付けかた

付属のソフトカバーは、以下のように本機に取り付けます。

ちょっと一言

本機をクレードルに載せるときや、ACアダプタやモバイルコミュニケーションアダプターに取り付けるときは、ソフトカバーは取りはずしてください。

本機後面

1 スタイラス

画面上のアイコンやボタンをタップしたり、文字を入力するときに使います。

詳しくは「スタイラスの使いかた」（14ページ）をご覧ください。

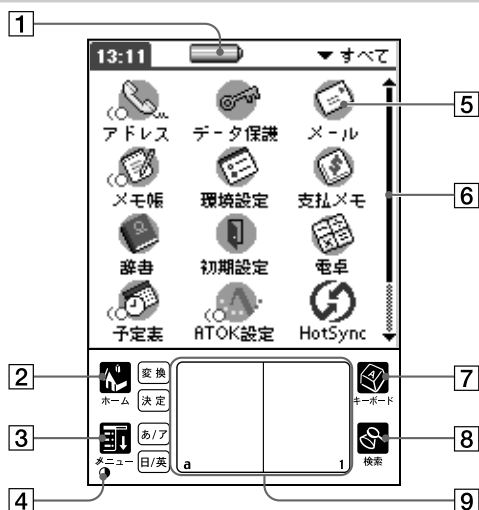
2 リセットボタン

本機をリセットするときに押します。

詳しくは本体取扱説明書をご覧ください。

3 インターフェースコネクタ

モバイルコミュニケーションアダプターや、クレードル、ACアダプタを接続します。

表示画面

1 バッテリ残量表示
本機の現在のバッテリ残量を表示します。充電中はと表示されます。

2 ホームアイコン
タップすると、ホーム（アプリケーション一覧）画面が表示されます。

3 メニューアイコン
タップすると、現在のアプリケーションのメニューが表示されます。

4 コントラスト調整アイコン*
タップすると、本機の画面のコントラストを調整するための画面が表示されます。

5 アプリケーションアイコン
タップすると、選んだアプリケーションが起動します。

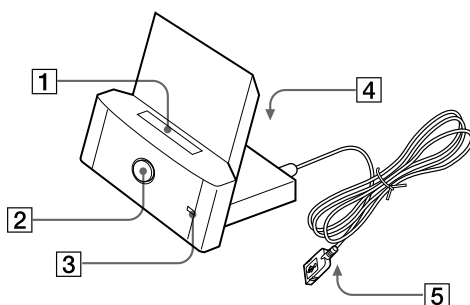
6 スクロールバー
スタイラスでドラッグすると、画面がスクロールします。

7 キーボードアイコン
タップすると、スクリーンキーボードが表示されます。

8 検索アイコン
タップすると、検索画面が表示されます。

9 Graffiti入力エリア
Graffiti文字で手書き入力をするための領域です。

* デジタイザーの調整が正しくないと、この画面は表示されません。その場合は［環境設定］-［デジタイザー］で正しく調整してください。

クレードル

1インターフェースコネクタ

本機と接続します。

2 HotSync（ホットシンク）ボタン

本機内部のデータとパソコンに保存した本機のデータを同期させます。
詳しくは、本体取扱説明書の「本機とパソコンのデータを同期させる（HotSync）」をご覧ください。

3 クレードルランプ

ACアダプタをつないで本機を置くと緑色に点灯し、充電が始まります。

4 ACアダプタ接続コネクタ

ACアダプタを接続します。

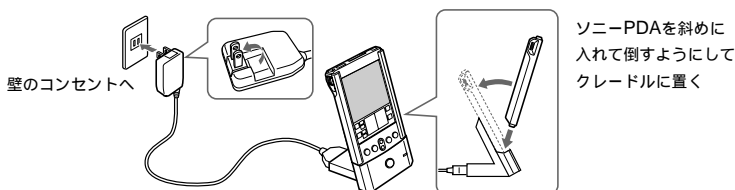
5USBコネクタ

パソコンのUSBコネクタに接続します。

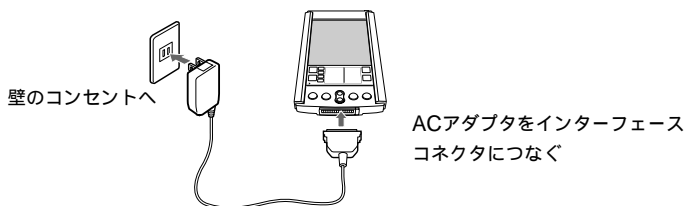
クレードルで充電する

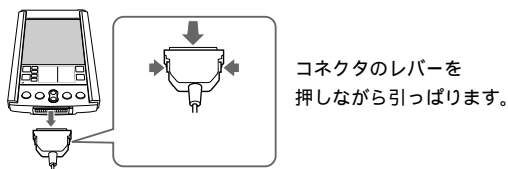
ご注意

本機をはじめて使うときは、必ず充電してください。

付属のクレードルをAC電源につないでおくと、本機をクレードルに置くだけで充電が始まります。
初回の充電は約3時間で終了します。毎日こまめに充電すれば、次回からの充電は短時間で終了します。

本機をクレードルに置くと、クレードルのランプが点灯して、充電が始まります。

直接電源につないで充電する

付属のACアダプタを直接本機につないで、本機を充電することもできます。

ACアダプタを本機につなぐと充電が始まり、ホーム画面のバッテリ残量表示がに変わります。

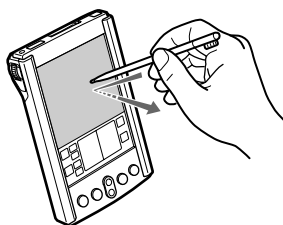
ACアダプタをはずすときは

スタイラスの使いかた

本機では、文字を入力したり実行したいアプリケーションを指定したりするために、付属のスタイラスを使います。

スタイラスを取り出す

スタイラスは本機の背面に収納されています。本機を使うときに、必要に応じて取り出してください。
紛失してしまわないように、使いおわったら本機に収納するようおすすめいたします。

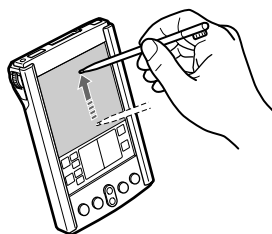
タップする

本機でスクリーンキーボードを使って文字を入力するときや、実行したいアプリケーションを指定したりするときは、画面に表示されている目的のボタンやアイコンを、スタイラスで軽く押します。
この「スタイラスで画面を軽く押す」ことをタップと呼びます。

スタイラスで画面を軽く押す（タップする）

ドラッグする

パソコンでアイコンをドラッグするのと同じように、本機でもスタイラスを軽くあてたまま画面をなぞることで、ドラッグすることができます。

ドラッグの例：

スクロールバーをドラッグすると、画面に表示されていない部分の文章をみることができます。
複数の文字を選択したいときも、選択したい文字の上をなぞるようにドラッグすることで、ドラッグした部分の文字をまとめて選択できます。

スタイラスを軽くあてたまま画面をなぞる（ドラッグする）

ジョグダイヤルの使いかた

本機には、ジョグダイヤルがついています。
本機はジョグダイヤルだけでの主な操作を行うことができるように設計されていますので、片手で持ったまま、スタイラスなしで操作することもできます。
ジョグダイヤルに対応しているアプリケーションには、アイコンにジョグダイヤルを示す ◌ マークがついています。

マーク

本機では、以下のアプリケーションがジョグダイヤルの操作に対応しています。

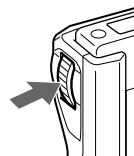
- Application Launcher
  （ホーム画面の操作）
- Memory Stick Gate (MS Gate)
- アドレス
- 予定表
- ToDo
- メモ帳
- ATOK Pocket
- gMedia
- Palmscape
- MultiMail
- PictureGear Pocket

ジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回して、次々にいろいろな項目を選択したり、起動するアプリケーションを選択したりできます。
ジョグダイヤルを回してできる操作はアプリケーションによって異なります。詳しくは各アプリケーションの説明をご覧ください。

ジョグダイヤルを回す

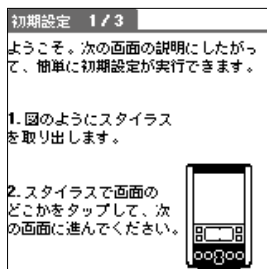
ジョグダイヤルを押す

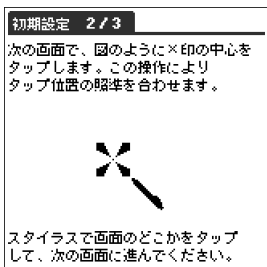
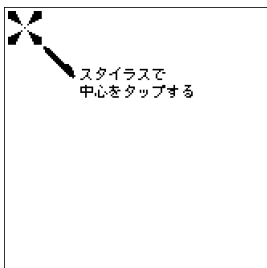
ジョグダイヤルを回して選択した項目を確定したり、アプリケーションを実行したりするときは、ジョグダイヤルを押します。
ジョグダイヤルを押してできる操作はアプリケーションによって異なります。詳しくは各アプリケーションの説明をご覧ください。

ジョグダイヤルを押す

電源を入れて初期設定をする

本機の電源を入れて、操作をする前に必要な初期設定を行います。
初期設定を行いながら、本機の仕組みに慣れていきましょう。

1 **本機の電源ボタンを押す。**

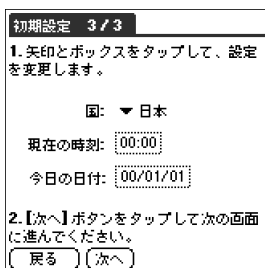
本機の電源が入り、「初期設定」画面が表示されます。

2 **スタイラスを取り出し、画面のいずれかの場所をタップする。**

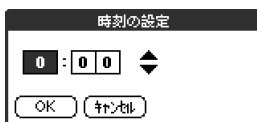
スタイラスでタップした場所と画面表示のずれを補正するための、設定画面が表示されます。

3 **画面のいずれかの場所をタップする。**

4 **画面の指示にあわせて、表示されたマークの中心をタップする。**

引き続いて、画面の右下と画面の中央の調整も行います。

ご注意

デジタイザーの設定が正確でないと、スクロールバーをうまく操作できなかったり、正しくタップできないなどといった問題の原因となります。
タップを正しく認識しない場合には、もう一度ホーム画面の「初期設定」からデジタイザーの設定をやり直してください。
デジタイザーの設定について詳しくは、本体取扱説明書の「デジタイザーの設定を変更する」をご覧ください。

調整が終わると、日時の設定画面が表示されます。

5 **［現在の時刻］の枠で囲まれている部分をタップする。**

「時刻の設定」画面が表示されます。

6 **▲ または ▼ をタップして、時間表示を現在の時間に合わせる。**

7 **分表示のボックスをタップしてから、同様に分表示を現在の時間に合わせる。**

8 **［OK］をタップする。**

時計が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

9 ［今日の日付］の枠で囲まれている部分をタップする。

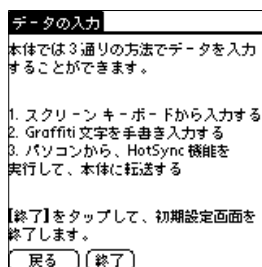
「日付の設定」画面が表示されます。

10 一番上の西暦の横の ◀ または ▶ をタップして、西暦を合わせる。

11 現在の月をタップしてから、現在の日付をタップする。

日付が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

12 ［次へ］をタップする。

「データの入力」画面が表示されます。

13 ［終了］をタップする。

初期設定が終了し、本機のホーム画面が表示されます。

これで本機を使えるようになりました。

スクリーンキーボードで文字を入力する

ここでは、スクリーンキーボードを使った文字の入力のしかたについて説明します。本機に付属している、「メモ帳」アプリケーションを使って、文字入力を練習してみましょう。
本機には、ここで説明する標準の日本語入力のほかに、ATOK Pocketでも入力ができます。
ATOK Pocketの使いかたおよび手書き入力のGraffiti文字の使いかたについては、本体の取扱説明書をご覧ください。

日本語入力のまえに

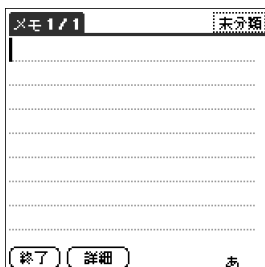
ここでは、「メモ帳」アプリケーションを起動して、日本語を入力できるようにするまでの手順を説明します。

1 「メモ帳」アプリケーションを起動する

1 フロントパネルの　ボタンを押す。

「メモ帳」アプリケーションが起動します。

2 ［新規］をタップする。

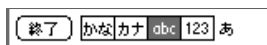
新規メモが作成され、文字が入力できる状態になります。

3 Graffiti入力エリアの右側の キーボード をタップする。

スクリーンキーボードが表示されます。

2 日本語入力を選ぶ

スクリーンキーボード上の各キーにはアルファベットやひらがなが表示されていますが、ただキーを押しても、漢字やカタカナは入力できません。本機の日本語入力モードを「入」にする必要があります。

Graffitiエリア左下側の［日／英］をタップして、日本語入力モードを「入」にする。

日本語入力モードが「入」のときは、スクリーンキーボード画面右下に「あ」と表示されます。

入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、かな入力方式とローマ字入力方式があります。お好みにあわせて、入力方法を選んでください。

❑ かな入力

スクリーンキーボード上の各キーに表示されているひらがなを使って、日本語を入力する方法です。スクリーンキーボードの［かな］をタップすると、ひらがなのキーボードが表示されます。

❑ ローマ字入力

スクリーンキーボード上のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力する方法です。スクリーンキーボードの［abc］をタップすると、アルファベットのスクリーンキーボードが表示されます。

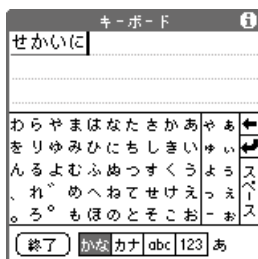
文字入力を練習する

ここでは「世界にひろがったソニーPDA」という例文を、かな入力でメモ帳に入力する手順を説明します。

1 漢字を入力する

1 「世界に」の読みを入力する。

せ、か、い、に、の順に画面上のキーをタップします。

キーをタップするごとに、カーソル（画面上で点滅している「｜」）が文字の入力位置に動きます。

2 Graffitiエリア左上側の［変換］をタップする。

入力した読みに当てはまる漢字が表示されます。

間違った漢字が表示されたときは、もう1度［変換］をタップします。

画面左側に漢字変換候補が表示されるので、目的の漢字をスタイラスでタップしてください。

3 Graffitiエリア左側の［決定］、またはスクリーンキーボードの ↵（Enterキー）をタップする。

変換が確定します。

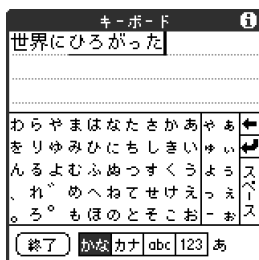
文字を間違って入力したときは

（Back Spaceキー）をタップすると、直前の文字を消去できます。

2 ひらがなを入力する

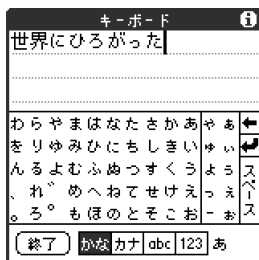
1 「ひろがった」の読みを入力する。

ひ、ろ、か、゛（濁点）、っ（小文字）、た、の順に画面上のキーをタップします。

キーをタップするごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

ちょっと一言

ローマ字入力で小さい「っ」を入力するときは、「かった」のように次の文字が「た」であれば Tキーを2回タップします。

2 Graffitiエリア左側の［決定］、またはスクリーンキーボードの（Enterキー）をタップする。

変換する必要がないので、［変換］をタップする必要はありません。

3 カタカナを入力する

1 **［カナ］をタップする。**

カタカナのスクリーンキーボードが表示されます。

2 **ソ、ニ、ー、の順に画面上のキーをタップする。**

キーをタップするごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

3 **Graffitiエリア左側の［決定］またはスクリーンキーボードの ↵（Enterキー）をタップする。**

変換が確定します。

ちょっと一言

ひらがなで「そにー」と入力してから［あ／ア］をタップして、カタカナに変換することもできます。

ローマ字入力でカタカナを入力するときは

カタカナにしたい文字列を入力したあとに、［あ／ア］をタップします。
入力した文字列がカタカナに変換されます。

4 英字を入力する

1 **スクリーンキーボードの［abc］をタップする。**

ローマ字入力キーボードが表示されます。

2 **［日／英］をタップして、日本語入力モードを「切」にする。**

日本語入力モードが「切」のときは、画面右下に「a」と表示されます。

3 **（Capsキー）をタップしてから、Pキーをタップする。**

大文字でPと入力されます。

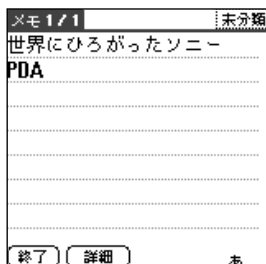
4 **D、Aの順に画面上のキーをタップする。**

日本語入力モードが「切」になっているため、変換したり確定したりする必要はありません。

小文字を入力したいときはもう一度 をタップします。

5 入力を確定する

文字の入力がすべて終わったら、[終了] をタップする。

スクリーンキーボードで入力した文字が、「メモ帳」アプリケーション内に入力されます。

これで「世界にひろがったソニーPDA」と入力できました。
キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなど、文字の入力のしかたについて詳しくは、本体取扱説明書の「文字を入力する」をご覧ください。

「～」や「˜」を入力するには

- 全角の「～」を入力するには、ひらがなで「から」と入力してから、「～」が選ばれるまで [変換] をタップする。
- インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「˜」(チルダ) を入力するには、スクリーンキーボードの [abc] をタップして、⬆ (Shift キー) をタップして、[~] をタップする。

Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールする

お使いのパソコンにSony PDA Palm Desktopソフトウェアをインストールして、パソコン上で本機のアプリケーションの多くの機能を利用できます。
Sony PDA Palm Desktopソフトウェアを使うと、パソコンと本機をHotSyncして、本機内のデータとパソコン上のデータを手軽に同期させることもできます。

システム構成を確認する

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアをお持ちのパソコンにインストールして実行するには、以下のシステムが必要です。

- OS：Microsoft® Windows® 98/Windows 98 Second Edition/またはWindows 2000 Professional
- CPU：Pentiumプロセッサ 90 MHz以上（MMXテクノロジプロセッサ推奨）
- RAM：32MB以上（64MB以上を推奨）
- ハードディスクドライブ：64MB以上の空き容量
- ディスプレイ：High Color以上、640×480ピクセル以上の画面サイズを表示できるディスプレイ（800×600ピクセル以上を推奨）
- CD-ROMドライブ
- USBコネクタ
- ポインティングデバイス

ご注意

Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、インストールは管理者権限（Administrators）のユーザーで行ってください。

インストールする

インストール時のご注意

- Sony PDA Palm Desktopソフトウェアをインストールする前に、付属のクレードルをパソコンのUSBコネクタにつながないでください。ソフトウェアが正しくインストールできない場合があります。
- インストールするパソコンに既にPalm Desktopソフトウェアがインストールされている場合は、アンインストールしてからSony PDA Palm Desktopをインストールしてください。

1 Windows上で起動している、すべてのソフトウェアを終了する。

ファックス送受信ソフトウェアやウィルス対策ツール、スクリーンセーバー、Microsoft Officeツールバーなど、Windowsと同時に起動して常駐するタイプのソフトウェアは、すべて終了させます。

2 パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。

しばらくするとCD-ROMが認識され、インストーラの起動画面が表示されます。

3 [Sony PDA Palm Desktopソフトウェア] をクリックする。

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが完了すると、「オンラインカスタマー登録のご案内」が表示されます。

4 画面の指示に従って、カスタマー登録を行う。

オンラインカスタマー登録には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットへの接続環境がない場合は、付属のオンラインサインアップガイドを利用してインターネットサービスプロバイダとご契約ください。

または、付属のカスタマー登録はがきでもご登録いただけます。
本機のカスタマー登録をすると正規のユーザーとして登録され、登録カスタマー専用の各種サービスなどが受けられます。サービスの内容について詳しくは、ソニーPDAのホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）をご覧ください。

また、本機に付属の保証書期間はお買い上げ日から３か月ですが、カスタマー登録をすると保証期間が１年間となります。保証について詳しくは、別冊の本体取扱説明書の「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

アンインストールするには

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアをパソコンからアンインストール（削除）するときは、以下の手順で操作します。

1 **Windowsの［スタート］メニューから、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックする。**

「コントロールパネル」が表示されます。

2 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。**

「アプリケーションの追加と削除」ダイアログボックスが表示されます。

3 **［インストールと削除］タブをクリックする。**

Windows 2000 Professionalでは［プログラムの変更と削除］をクリックします。

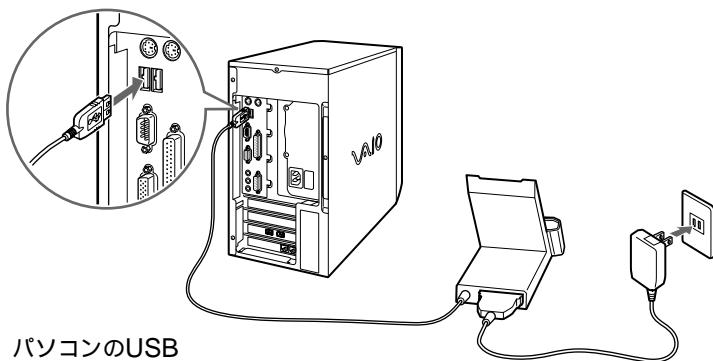
4 **自動的に削除できるソフトウェアの一覧から［Palm Desktop］を選び、［追加と削除］をクリックする。**

Windows 2000 Professionalでは「現在インストールされているプログラム」の一覧から［Palm Desktop］を選び、［変更/削除］をクリックする。

5 **［はい］をクリックする。**

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアがアンインストールされます。

クレードルをパソコンに接続する

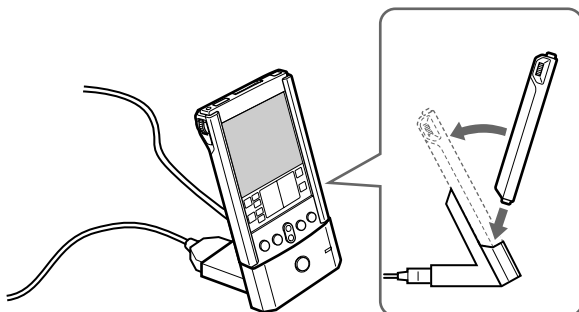
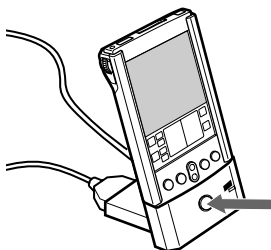
Sony PDA Palm Desktopソフトウェアのインストールが終了したら、パソコンのUSBコネクタにクレードルを接続します。

パソコンのUSB
コネクタにつなぐ

ご注意

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアのファイルを直接ハードディスクにコピーしないでください。ファイルを正しい場所に展開するには、インストーラを使用する必要があります。

本機をクレードルに載せる

本機をクレードルに載せて、パソコンから本機を認識できるようにします。

1 **本機をクレードルに載せる。**

2 **クレードルの**HotSync**ボタン**Ⓢ**を押す。**

USBドライバのインストール画面が表示されます。
画面の指示に従って、パソコンにドライバをインストールしてください。
ドライバのインストールが終わると、パソコンで本機が認識できるようになり、本機とパソコンの間でデータをやり取り（HotSync）できるようになります。

カスタマー登録する

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールした直後にカスタマー登録をしなかった場合、以下の方法でユーザー登録することもできます。

- 付属のカスタマー登録はがきに必要事項を記入して、投函してください。
- パソコンのデスクトップに表示されている［ソニーPDAカスタマー登録］をダブルクリックして、ユーザー登録を行ってください。（インターネットへの接続環境が必要です）

ご注意

オンラインカスタマー登録を行った場合には、カスタマー登録はがきを投函しないでください。また、カスタマー登録はがきでカスタマー登録を行ったあとに、オンラインユーザー登録をしないでください。

ご登録内容は、ソニーから外部へは一切開示いたしません。

どの説明書を読む？

本機に付属しているその他の説明書の内容を簡単に紹介します。それぞれの目的に合わせてお読みください。

❏ 取扱説明書

本機の基本的な知識をはじめ、本機の使いかたについて詳しく説明しています。「はじめにお読みください」を読み終わった方は、必ずこちらもお読みください。

❏ モバイルコミュニケーションアダプター取扱説明書(PEG-S500C・PEG-S300のみ)

モバイルコミュニケーションアダプターの取り扱いについて詳しく説明しています。

❏ Palmscape*取扱説明書

本機に付属するPalmscape（ホームページ閲覧ソフトウェア）の使いかたについて詳しく説明しています。

❏ MultiMail取扱説明書

本機に付属するMultiMail（電子メールソフトウェア）の使いかたについて詳しく説明しています。

❏ PictureGear Pocket取扱説明書

本機に付属するPictureGear Pocket（静止画ビューワー）の使いかたについて詳しく説明しています。

＊PalmscapeまたはPalmscape Cruiserについてのご質問などは、イリンクスのサポートデスクで受け付けています。

イリンクス・サポートデスク

ホームページ	http://www.ilinx.co.jp/palm/support/
E-mail	support@palmscape.ilinx.co.jp
電話（フリーダイヤル）	0120-08-9970
FAX	03-5977-3966　24時間受付

PDF形式の取扱説明書を表示するには

本製品に付属している以下のソフトウェアには、PDF形式の取扱説明書が付属しております。

gMedia、MultiMail Conduit、PalmscapeCruiser

それぞれの取扱説明書を表示するには以下の手順に従ってください。

1 付属のインストールCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。

2 インストールメニューが表示されたら、[終了] をクリックする。

インストールメニューが閉じます。

3 Windows®のエクスプローラを開いて、左側のウィンドウからCD-ROMのドライブをダブルクリックする。

インストールCD-ROMのファイル構造が表示されます。

4 それぞれのソフトウェア名のフォルダをダブルクリックして、PDFファイルをダブルクリックする。

PDF形式の取扱説明書が表示されます。

それぞれの取扱説明書のファイル名

- gMedia
  [gMedia]フォルダのgMedia Manual.pdf
- MultiMail Conduit
  [MultiMail Conduit]フォルダのMultiMail Conduit Manual.pdf
- PalmscapeCruiser
  [PalmscapeCruiser]フォルダのPalmscapeCruiser Manual.pdf

このPDF形式の取扱説明書を開くためには、Adobe® Acrobat® Reader 3.0以上が必要です。Acrobat® Readerがお使いのパソコンにインストールされていないときは、インストールCD-ROMの[Acrobat]フォルダの中からSetup.exeをダブルクリックし、Acrobat® Readerをインストールしてください。
インストール後にWindows® のデスクトップにAcrobat® Reader4.0のアイコンが表示されたら、ダブルクリックします。
Acrobat® Readerが起動して、「ソフトウェア使用許諾契約書」の画面が表示されたら、内容をご確認の上 [同意する] をクリックします。
以上の操作でAcrobat® Readerを使うことができます。見たいPDF形式の取扱説明書を上記の手順で表示させてください。

この説明書は再生紙を使用しています。

Sony online http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

CLIE ホームページ
CLIE を楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.sony.co.jp/CLIE/

ネットコミュニケーション カスタマーリンク ホームページ
CLIE の最新サポート情報をご案内します。
● http://www.sony.co.jp/CLIE/support/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

使い方のご相談、技術的なお問い合わせは
ネットコミュニケーション カスタマーリンクへ
● 0466-30-3080

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは
ソニーカスタマー専用デスクへ
● 03-3584-6651

お電話の前に、必ず付属の「ソニー PDA サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

Printed in Japan